

2017年6月2日（金）

「3年 鎌倉調べ（総合学習）」

鶴岡八幡宮

鶴岡八幡宮は、源頼朝が大切にしていたところです。
どのようなつながりがあるのか、実際に見学しながら学びました。



今日もノートを持って、先生の話をもとにメモしながら聞きました。
国宝館の下を掘っていったら…では、次々に発掘されたものを聞いて大興奮。

最後は…「ここは海だったのですか!？」

驚きの声があがりました。

一番印象に残ったのは、大銀杏の話。

大銀杏の姿を知らない子どもたち。

倒れてしまった時のことに驚き、大銀杏を想う沢山の気持ちに触れ、
隠れイチョウと呼ばれていたお話を想像しながら聞き、
次の若い銀杏のこれからを願う子どもたちでした。



他にも、本殿前から参道をながめたり、三の鳥居から段葛を見たり、
源平池ではそれぞれ島の数を数えてその意味を学んだり、
今の姿を通して、昔をたくさん知りました。

想像しながら見学することが面白くなってきた様子の子どもたちでした。